



シリーズ まち・ひと・しごと # 40 としお 日本画家 中村 寿生さん

羽根野にある築 200 年とも言われている趣のある古民家。庭には昔ながらのリヤカーに積まれた薬や、自由に動きまわるニワトリ達の姿が見られます。

今回の「シリーズまち・ひと・しごと」では、この古民家に移住して約 17 年、日本画家であり文星芸術大学准教授である中村寿生さんに、移住者の視点から見る町の魅力や、代表を務める「文間 椿 - 利根町で育てる紙ノ木プロジェクト」の活動などについてお話を伺いました。

経歴

1969 年 長野県生まれ
2000 年 東京藝術大学大学院博士号後期課程満期退学
2000 年 東京藝術大学（日本画）教育研究助手
～ 2008 年
2010 年 草茅舎開設
2011 年 文間椿 - 利根町で育てる紙ノ木プロジェクトを立ち上げる
2015 年～ 文星芸術大学准教授



移住のきっかけは趣のある古民家

中村さんが都内から茨城県に移住したのは 2000 年。東京藝術大学での仕事が取手校地だったため、取手市に住み始めました。県内を車で周ってみると、江戸時代のような街並みの風景が残っているところが多く、タイムスリップをしたような感覚を何度か味わったそうです。その頃、守谷市にある大きな米蔵をギャラリーにする活動に携わる事になり、職人さんや古民家を移築する人たちと関わっていく中で、自身も古民家に住みたいという想いが強くなり、そんな時、現在の住まいである古民家と出会いました。

「藝大で仕事をしている頃、この近くのおそば屋さんによくお昼を食べに来ていました。その時にすごく素敵な古民家があるのを見かけて、二年くらい来るたびに外から眺めていたんです。」

いい町 利根町 あなた待ち

TONE

広報とね

2021 年 11 月号



～利根町百景～

徳満寺は、元龜年間（1570 年）祐誠上人が中興した寺とされており、本堂には地藏菩薩が安置され、「子育て地藏」と呼ばれ親しまれています。
また、客殿の廊下には少年期の柳田國男に大きな影響を与えたとされる「間引き絵馬」が掲げられています。
毎年 11 月末の開帳時期には境内で「地藏まつり」が開催され、普通は撞くことが禁じられている梵鐘も、除夜の鐘と初詣そして地藏まつりのときだけは例外です。
階段を登った山門付近は、紅葉の時期は特に素敵な空間です。ぜひこの時期にも訪れてみてはいかがでしょうか。

情報提供：三竹正男様（布川）

徳満寺の紅葉

▲ 利根町布川 3004

📍 あり

☎ 0297-68-2442

情報をお寄せください！！

広報とね「利根町百景」は、読者の皆さまから寄せられた情報をご紹介しますコーナーです。利根町で見つけた美しい景色、珍百景、新百景など、利根町の魅力となる情報を写真付きでお寄せください。

【応募方法】

写真および紹介文（250 文字程度）をメールで下記まで送付してください。

総務課秘書広聴係 ✉ kouhou@town.tone.lg.jp

今月の表紙

表紙の写真は、「シリーズ まち・ひと・しごと」で取材した日本画家で文星芸術大学准教授の中村寿生さんです。

中村さんが、利根町に移住したきっかけや、移住者から見た町の魅力、和紙作りのプロジェクトにかかる想いについて紹介しています。ぜひご覧ください。

もくじ -contents-

広報とね 2021 年 11 月号

- | | |
|----|--|
| 2 | 利根町百景／もくじ |
| 3 | シリーズまち・ひと・しごと
40 和紙が繋いでいくもの
日本画家 中村 寿生さん |
| 6 | Pick UP ! |
| 9 | 暮らしの情報欄 |
| 13 | ぼうさい掲示板 |
| 14 | お知らせ -TONE Information- |
| 20 | 日本ウェルネススポーツ大学通信
フリフリグッパ体操／シルバーリハビリ体操
とねワイワイくらぶ |
| 22 | SDGs 世界を変えるための 17 の目標 |
| 24 | 保健福祉センターだより／健康レシピ |
| 26 | こんにちは！とね子育て支援センターです
わが家のアイドル写真館 |
| 27 | 図書館へ行こう |
| 28 | とねまちプレイバック |

UD
FONT

「広報とね」では、高齢者や弱視の方を含む、すべての皆さまが読みやすい紙面とするため、視認性の高い文字「ユニバーサルデザインフォント (UD フォント)」を使用しています。